

後輩たちへ 見ぬ まだ

平成28年度
合格通知書

平成29年度生
入塾相談会(18:00~授業内覧会開催・3/12、19を除く)
3/9(木)11(土)16(木)
4/1(土)いずれも17:00~
3/12(日)19(日)12:00~

九州大学
20年連続現役合格実績

※前身の数学教室時代の実績を含む

82/100

進研模試・高2数学・12月返却
筑紫丘高校普通科2年生会員

81/100

進研模試・高2数学・12月返却
筑紫丘高校理数科2年生会員

99/100

進研模試・高1数学・12月返却
修猷館高校1年生会員

95/100

進研模試・高1数学・12月返却
修猷館高校1年生会員

92/100

進研模試・高1数学・12月返却
筑紫丘高校理数科1年生会員

83/100

進研模試・高1数学・12月返却
福岡高校1年生会員

79/100

進研模試・高1数学・12月返却
九州産業高校1年生会員

※久留米附設他、
一般的な中高一貫中高は
進度が一年上のため
同年の進研模試には
参加していません

- 受講者の実績 (ごく一部抜粋)
- ★西南学院高校・一貫(07卒)
→東京大学理科一類現役合格(首席卒)
- ★修猷館高校(09卒)
→「大学への数学」Bコース一等賞
→九州大学医学部医学科合格
- ★修猷館高校(11卒)
→九州大学医学部医学科現役合格
- ★久留米附設高校(11卒)
→福岡県知事賞
→九州大学医学部医学科後期現役合格
(前期理III、0.1点差で不合格)
- ★筑紫丘高校(13卒)
→数学学年1位(高1進研模試満点)
→東京工業大学合格
- ★修猷館高校(14卒)
→数学学年1位(各種試験)
→東京大学文科一類現役合格
- ★筑紫丘高校(14卒)
→数学学年1位(高1進研模試満点)
→九州大学理学部数学科現役合格
- ★筑紫丘高校(15卒)
→数学学年1位(高1進研模試満点)
→東京大学理科一類現役合格

学年がない画期的な理数専門塾

検索

福岡チャータースクール

お電話でのお問い合わせは 092-845-9981

FCS [v3.7] 新中学準備講座

※中学準備講座は英語(フォニックス)と数学予習を2月第一週より開催。
※いずれも3月いっぱいまで開講し、中学での学習に耐えられる学力を身につけます。
※4月より通常授業コースに引き続き参加できます。※受講料、他、詳細はHP、もしくは、入塾相談会でお尋ね下さい。

四技能英語対応

FCSでは毎年2月第一週目から、フォニックスを中学準備講座で行っています。

最近、フォニックスの重要性を理解した塾が増えてきましたが、FCSは平成20年藤崎に拠点を置いてから毎年やり続けています。

お陰で、久留米附設中学英語1位、西南中学英語1位を取るなど、参加者に良質な英語力を身につけさせているようです。

久留米附設中英語1位・西南中英語1位

今年8月より、FCSでは中学英語コースをプログレスを学ぶSコースだけに募集を絞りました。

これは、受験が変わるためです。

プログレス英語が学べる塾

プログレスを教材に使う中学校は少ないでしょう(教えるのにかなりの技量が必要です)。プログレスを使っていない中学生の生徒に取って、お稽古ごと(英語プロ)のレッスンを別にする感覚になるかもしれません。

しかし、真の英語力(四技能)を身につけるにはプロ

グレスは数少ない有用な選択肢です。

新中学準備講座は昨年より、2月4週、3月4週計8週開催し、フォニックスに力を入れてきました。その後のレギュラー講座(Sコース)でのプログレス学習に直結しているのは言うまでもありません。

受験の勢いをそのままに

さて、数学のコースは「準備」ではなく「予習」講座となっています。小学算数の復習を行ったり、正負の数でうろろする「中学準備講座」と異なり、ずばり「中学数学予習」を行う本格的中学数学先取り講座です。

教材には答えもつけ、自学に配慮します。特定のコマを設けず、J数学すべての曜日時間に参加可(月謝定額制)。教材をどんどん解かせます。1年生の教材が終わったら2年生の教材を発注(実費)。とことん、進める画期的な講座です。

久留米附設中と同じ進度で。その子の学び次第で可能な塾

国語・理科・社会受講希望者は2月から通常授業(Jコース)に中学生の先輩と共に参加できます。大手塾と違い、FCSでは一教科からの参加が可能です。

フォニックス 中学英語準備 講座

中学時代に高校1~2年レベルの英語を習得

そのためには中3で英検二級取得を目指す妥協のない英語講座

『プログレス』を徹底学習

まずは『フォニックス』で発音から

開講日●2/5(日)17:30~18:50開講(3/26まで計8回)

会場●FCS藤崎本館

要項●これから英語を学ぼうとする小中学生は、まず、2月から2ヶ月間、集中的にフォニックス(アルファベットの読み方、連なりの読み方、仕組み)をまなび、音を聞き、読み、書き取る初歩的な訓練を行います(4技能英語対応)。

小学生はローマ字ベースで英語を理解していますが、この癖を直し英語を英語として理解できる(発音記号なしで英語が読めるようになる)訓練を積んでいきます。

4月からは中学英語Sコースでプログレスを教材に使い英語の学習を継続する事も出来ます(英語成績、附設1位、西南1位。結果も伴う4技能英語コースです)。公立中や公立中に準拠する教材を使用する私立中の子でプログレス(ホンモノ)の英語を学びたい方、学ばせたい保護者にとって本講座はかけがえのない選択肢です。

※主宰者より~Sコース英語は漫然と通う「塾」とは違い、ピアノ、スポーツ等の習い事のように日頃の練習を怠らない覚悟を参加者に求める講座です。

中学数学 予習講座

開催日●日曜朝、月曜夕方、火曜夕方、土曜夕方(HP参照)

会場●FCS藤崎本館

要項●2月1週目から中学の教材をとことん解きます。

今年から、本コースは大幅に変わりました。

新1年生だけ集めた講座にせず、J数学が開講している全日程(日・月・火・土)で中学校の教材(附設ならAクラス、大濠なら体系数学、公立なら有名塾教材)をどんどん先取り(先輩達と一緒に)解いて行く講座になりました(休んでも他の曜日に参加できます。週に何回も予習する子もいます。席が許す限り構いません)。

1年生の教材が終わったら、2年生の教材を発注します(実費負担。解答解説もおつけします。家でも解けるよう便宜を図ります)。

ここまで書くとお分かりになられるかと思いますが、一斉授業形式は取りません。分からない問題は随時、板書をして、共有して行きます(無駄の排除・高校数学Rコースと同じ)。

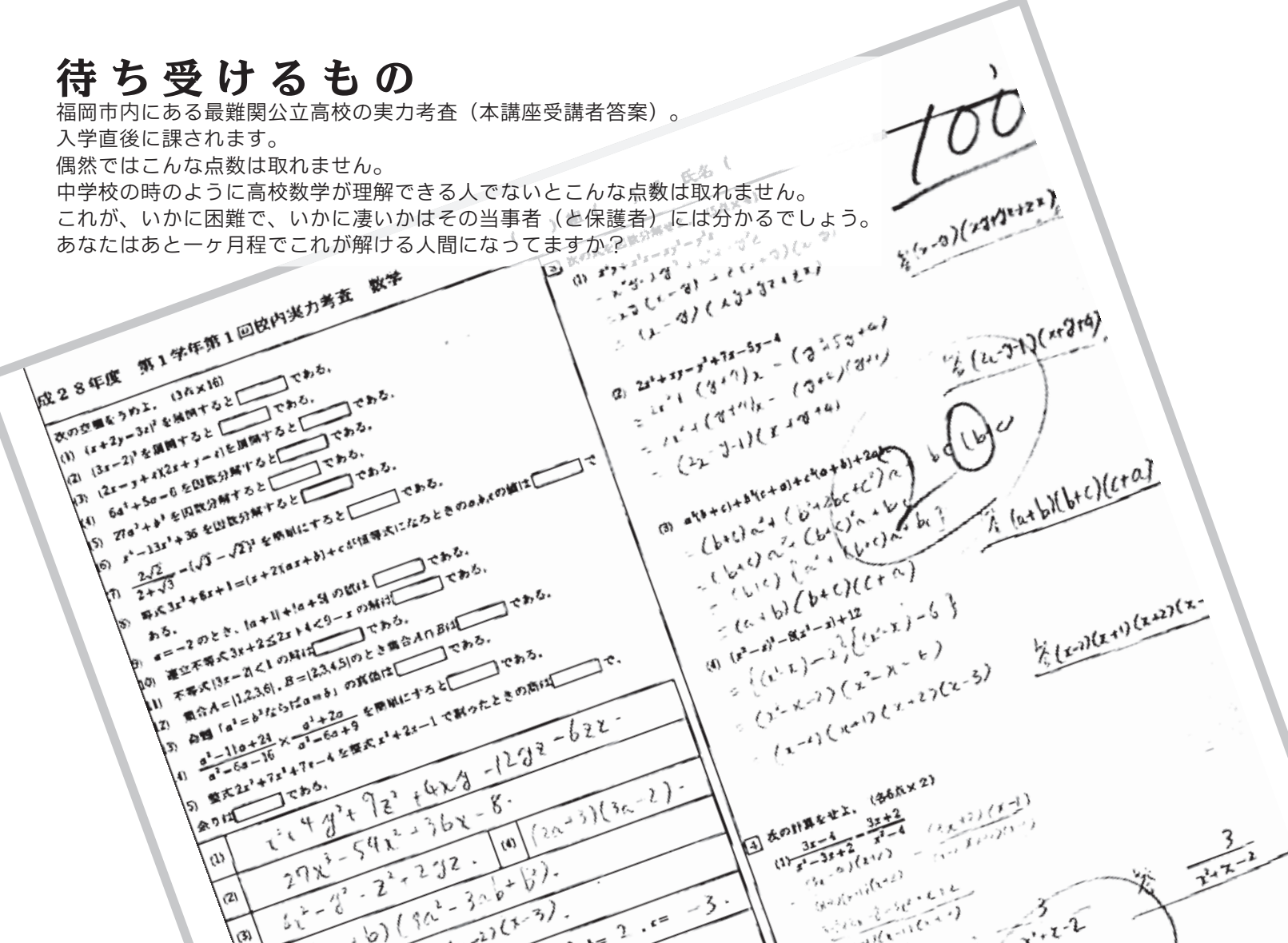
「受験が終わって羽根を伸ばさせてあげたい」と思われている親御さん、ご家族には不向きな講座かもしれません。「何故、あの時、勉強していたんだろう(久留米附設中学校3年生100番台・当時)」

もの心つく前に、進めるだけ、進め、貯金を作ってあげましょう。

「先生、自分には勉強しか取り柄がない、だから頑張るしかない(先の附設OB、高校2年時での名言。その後、熊本大学医学部医学科現役合格、現在医師)」

待ち受けるもの

福岡市内にある最難関公立高校の実力考査（本講座受講者答案）。
入学直後に課されます。
偶然ではこんな点数は取れません。
中学校の時のように高校数学が理解できる人でないとこんな点数は取れません。
これが、いかに困難で、いかに凄いかはその当事者（と保護者）には分かるでしょう。
あなたはあと一ヶ月程でこれが解ける人間になってますか？



FCS【v.5】 高校数学予習講座要項

高校の教材を使い高校数学を予習する高校数学予習講座
4回の集中講義で英語の文法全体を俯瞰する高校英語準備講座
今年も3/11（3/9 予備日）から開講です（乗り遅れるな）！

1学期中間考査 200点満点中10点！の衝撃

つい3ヶ月前まで300点中260点近く取っていた中学3年生が取る点数なのか？正直、驚きました。
何故あんなに難しい修猷館に受かった子がこんな点数しか取れない子になるのか？

このような子がもし入会して、毎日の修猷館の授業についていけるようにする。それから成績を修復する。あわよくば、国立に現役合格させる。これは並大抵ではできません。

左記にあるような点数を取らせるためのサービス(授業～話術)を提供しても、点数が取れない子がいる。心が痛い話です。この差はどこから生じるのか？

10点しか取れなかった子の資質に帰するのは簡単です(中学時代の多くの塾なら下のクラスに落とせばいいだけの話です)。しかし、そのような子を切り捨てるのではなく、寄り添うと、いろいろな事が見えます。

攻略法を編み出せる人間へ

300点満点のゲームをクリアするためにどうすればいいか。手を動かし、技を編み出す事、試行錯誤して扉や抜け道を発見する事。いずれにしてもゲームをした時間に比例し、経験値を多く積んだ子が上手です。

攻略本に頼るとストレスはないが

でも、時間がかかる。すると、先の面まで進んだクラスの子が自慢げに話す技やアイテムの隠し場所が聞こえる。それを参考にゲームを始めるとステージがクリアされる。

ある日、家族と本屋に行くとゲームの本がある。それを手にすると、自慢する友達の話している事やそれ以上の誰も知らなかった事が載っている！家に帰ってゲームをする。あっという間にゲームはクリアされた(クラスで1番！)。

実は上手くなかった

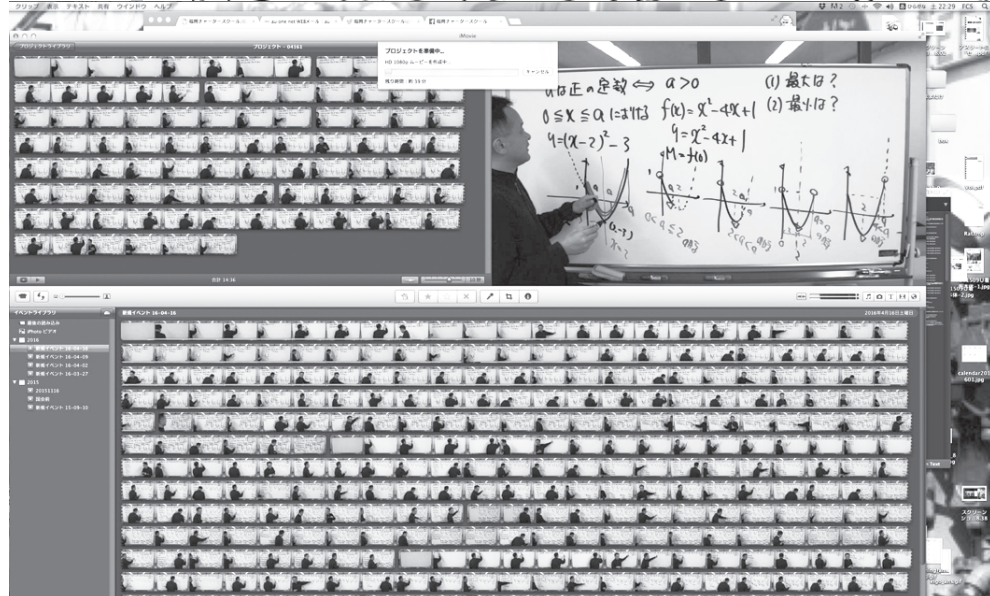
果たしてこの子は本当にゲームが上手いのだろうか？もうお分かりだろう。聡明な皆さんならこれ以上話さなくても。

では、何をすればいいか

さて、皆さんは高校の授業に耐えられる「学力」(経験値)を身につけているのか？それは、普通だったら、実際、受けてみるまでは分からないものです。

しかし、そのような行き当たりばったりの事を人は「冒険」と呼び、あまり勧めません。

仮に「冒険」をするにしてもそのための「準備」をします。そしてその「準備」の程度(ここがポイント)で「冒険」が本当の「栄光」に変わるものなのです。



■Rコース数IA予習コース
二次関数5限目の授業を適した。既に、6限目に到達した者には下記17番動画以降の内容の問題を指定し、一部は完全記述試験を行った。
2016二次関数先取り予習動画セット
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLFdOxHnNUsna7qf11EqN-UJzKycv-G>
次週は6限目で上記をよく視聴、予習してくる事。
あと久留米附設中3と西南一般高校1年生は下記も
場合の数
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLFdOxHnNUsknAoMMTweWfoGLb3m5DPU>
■Rコース数IIB予習コース
対数の質問受けとベクトルの予習で、修猷館高校2年生にゼロからベクトルを教えた。内容は下記。
福岡チャータースクール/数学教室/ベクトル入門
1限目「六角形」【前】2016/03/29
<https://youtu.be/IDbOhncFbTE>
福岡チャータースクール/数学教室/ベクトル入門
1限目「六角形」【後】2016/03/29
<https://youtu.be/gkwl1QK8mCE>
福岡チャータースクール/数学教室/ベクトル入門
1限目「六角形」【補】2016/03/29

高校数学予習講座

毎年開催されている高校数学予習講座。久留米附設、ラサール高校合格者向けのFクラスは2/4(土)スタート。三角比をゼロから教え、先週、正弦定理、余弦定理まで進みました(その様子はYou Tube・TW・FBでご覧になれます)。3/11(土)からは修猷館、公立入試組向けのUクラスがスタート。Fクラスと合流し、二次関数をゼロから学びます。4週間で判別式まで進む予定です(続きは4月以降、高校数学Rコース数1A予習クラスにて教えます)。教材はFクラス、Uクラスとも学校で配布された教材を使い、その教材がポロポロになるまで解き潰します。一切の無駄と負担はありません(学校から教材が配布されるまでの間は教材は貸与します)。更に、授業の様子はYou Tubeにアップロード。何度も見直す事ができ、難解な高校数学の理解と受講者の便宜を図ります。また、昨年までの授業動画もYou Tube上に残っているので、事前に視聴し、事前予習も可能です(推奨)。昨年は動画の効力が遺憾なく発揮。三角比、二次関数と順調に消化したラ・サール高校合格者はベクトルまで、修猷館高校推薦合格者、筑紫丘理数科推薦合格者はセンター過去問演習まで進み、入学式を迎えました。

高校数学予習講座【Uクラス】

公立受験組新高1参加講座

開催日●3/11(土)18:00~19:30(4/1まで計4回)

会場●もちパレス3F

要項●修猷館高校1年生が使う教材で入試直後の(合格発表の前の)土曜日から高校数学の先取りをする画期的な講座(最初の1回目3/11分はこちらで問題を準備します)。

ここ数年、修猷館高校は合格者召集日に課される数学の宿題が第1回(入学直後実施)の実力考査の試験範囲となっています。

この試験範囲は他の高校では中学校内容となっているようですが、修猷館は宿題(高校内容)になっています。試験結果は満点(本講座受講者)から一桁まで散らばります(学校非公表・生徒情報より)。

先日まで中学の試験で満点から9割以外取った事のない「修猷館に合格した」生徒ですら超苦戦する内容です。今まで「できる」人が「本当にできる人」と「作られた人」にしっかり分解される試験なのです。

さて、FCSでは高校数学予習講座は修猷館高校の宿題そのものはしません。この4回の講座で二次関数1・2・3・4限目(昨年までの授業の様子はYou Tube上にあります)を行います。勿論、参加者が修猷館の宿題が分からず、尋ねて来れば教えはします。しかし、我々が見るのは目先でなく、その後、毎日続く授業について行ける子を「創る」こと、「鍛え直す」ことです。

5限目以降は4月からの通常授業で教えますが、まず、高校数学と中学数学の根本的な違いである「場合分け」できる人間をこの4講で創りたいと思っています。

高校英語準備講座

公立受験組新高1参加講座

開催日●3/29(水)30(木)31(金)4/1(土)

時間●14:00~16:00(4日間いずれも)

会場●FCS藤崎本館(早良区役所正面)

主宰者から●毎年入学式までの期間、英語全体の文法をまとめて総ざらいできる勉強会をFCSは開催しています。

昨年はラ・サール高校合格者が参加。「大変有意義で役に立った」と好評でした。

今年は、外部から医歯薬系受験指導に強い先生を招聘します(時間は、する事がない午後2時間×四日間)。

内容は、文法が中心の四日間ですが「受講後、今年のセンターの文法問題を解ける」ような指導をして欲しい、とお願いしています(中高一貫新中3~一般高2も参加可)。

尚、今回は、先生は遠くから招聘するので参加人数の下限を切った場合は開講しません(採算度外視ですが、交通費くらいなにかしたいと思っているからです)。



FCS 中学生コース 通常授業【新シーズンv3.2】 要項一覧

※中学内容（高校受験）を毎週1回、月計4回授業。

※一講座（一科目）から受講可。

※形式は予習塾（中学内容の速習）で少人数集団授業（大学院のゼミ形式）。試験前は復習。学年はなく（小学生の参加も妨げません）、生徒が学びたいだけ、先に解き進める画期的な講座。

※英語は指導要領改訂に伴い、四技能英語対応のSコース（プログレス～久留米附設中教材～使用。小学生も参加可）。

※数学は学校で配布された「Aクラス（久留米附設）」「高校への数学（久留米附設）」「体系数学（大濠・早稲田佐賀）」をそのまま使用。だから無駄がありません（公立中・附属中組はウィニングプラス）。中高一貫生は中2二月から高校数学予習講座→高校数学Rコースに昇格します。

※理科は8カ年分の入試問題（公立・久留米附設）をベースに教えるJコース理科と中高ボーダレスのRコース物理、Rコース化学が開講。

S（小・中学生）コース 英語

■Sコース英語要項（教材にプログレス使用！）

開催日●日曜日17:30～18:50（初級）

19:00～20:20（中級）

20:30～21:50（上級）

会場●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

■主宰者からのメッセージ「Sコースの英語とは」
大学入試改革に即応した英語講座の決定版

S英語はプログレスに精通した先生に登壇頂いています。久留米附設中学、福岡雙葉中学の英語進度も理解し、四半世紀近いキャリアを誇る先生が指導します。

一流海外大学留学指導にも通じ、文部科学省が目指す、グローバル英語（聞く、読む、話す、書くの4技能統合型言語活動）が身につく最新英語講座です。

■中高ギャップの解消、BOOK3＝センターレベルだから
久留米附設1位（中2）、西南学院1位（中2）！

久留米大附設の生徒が圧倒的な合格実績を誇る秘密は？入試問題を見て頂ければ一目瞭然です。公立高校、市内の私立高校は限られた単語でしか問題は作られてませんが、附設は大学入試センター並の語彙、英語のスキルを求めています。本講座は中学英語の枠にとらわれず、経済界が求める英語力を中学生に身につけさせる講座です。

Jコース 国語

■Jコース国語要項

◆『生徒それぞれの“個”を尊重し、客観的且つ論理的に文を分析する力を育てる』

指導は、まず20分程度の高校入試レベルの漢字テストから始まります。その後、長文演習と解説の授業を行います。授業は生徒さん各自のペースを大事にしつつ、必要に応じて、タイミングを見計らいながら解説を施すという形で進められます。

長文指導の目標は、自分のフィーリングに頼らず、根拠に基づいて解答できるよう、客観的に文章を読むことができる力を養成することです。記載された一語一語を大事にして、自分の思いを勝手に入れず、論理的に分析する能力を育てていきたいと思っています。

また、高校入試の対策も兼ねて作文練成も行っています。単に字数を埋めるだけの点取り作文ではなく、内容の濃い文章を書けるようになることも目標に掲げています。教室の雰囲気は大変穏やかです。学校で解からなかったことも含め、気軽に質問・相談できる空気を作っています。

国語の問題に対する解釈は、確かに人さまざまかもしれませんが、解答が解答であるための根拠は必ずあるものです。その根拠をどのように探したらいいのかということも含め、時には討論になることもあります。答を答として押し付けても力は向上しません。生徒の意見は意見として一旦は受け入れ、その後、自分の解答が本線から脱落していることを、気付いてもらえるような指導を目指して努力しています。

会場●FCS藤崎本館／日時●毎週水曜日20:10～

Jコース理科 Rコース物理・化学

■Jコース理科要項

●毎週土曜日18:20～

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

●新シーズンスタート／3月は中学化学分野(新中学生の中途入会歓迎)

■Rコース化学・Rコース物理要項

●毎週金曜日19:10～／20:40～

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

●要項

■二つのコースの違い

Jコースは過去8年分の公立（福岡県）入試問題（＋適宜附設入試問題）をベースにテーマ毎に授業するコース、Rコースは物理もしくは化学を学ぶコースです。

よって、公立入試を最終目標にするならばJコース。公立入試にこだわらない（中高一貫・超難関私立高校受験）ならRコースと言った方が分かりやすいでしょう。

■どこの塾も同じ事をやっているから・・・

これまで、公立入試で高得点を取るためには塾教材を「やる」事が近道だとJ理科（塾）の役割を説明してきました。塾教材（塾というシステム）がまさに60/60点を取るための人知を駆使した「攻略本」だからです。

■待望！攻略法を編み出せる人間を創る講座

すると・・・「うちの子をその攻略法を編み出せる子になる授業をしてくれませんか」と問い合わせがありました（我々が昔やっていた事を知っている？）。

そこで、公立入試8年分の問題を単元毎に分解。単元毎の講話→書き取り→授業後にノートまとめ。次回授業前半に前回の講話の完全記述試験（生徒が単元を記述表現できるようにする）→講評。後日、入試問題を解かせる。

普通の塾では最後のサイクルだけをやっていて、スキルの高い先生であればそこで理科の現象やしくみの説明ができます（楽しい授業）。

この講座ではそのスキル部分を前面に出し、生徒にまとめさせる、という福岡では類の見られない講座です（数学のような計算練習が伴う物理、化学分野はまとめて留まらず錬成をさせます）。

■理科にはものごとを整理まとめる要素が満載

ところで、公立入試（＋久留米附設入試問題）をゴールに理科をゼロから教える事が出来る（語れる）先生は福岡には皆無です（大手は教材を流すだけだし、数少ない個人塾の塾長もだいたい文系出身で理科は専門外）。

よって、この船（講座）は福岡のどこの塾にも見ない革新的な講座になるでしょう（首都圏にはゼロから探求できる講座がありますが・・・）。

尚、高校受験がない中学生はRコース物理、化学を履修する事をお勧めします（中学受験の理科の入試問題と公立高校入試のそれを見比べて下さい。全く同じか、それ以上の内容である事に気づかれるでしょう。灘中学校、久留米附設中学校では理科～化学は「モル」で習うのです）。

Jコース 社会

■Jコース社会要項

●毎週水曜日19:00～

●新シーズンスタート／3月は鎌倉時代のはじまりから室町時代のはじめまで（月初から参加できます。新中学生の中途入会歓迎）

●主宰者推薦図書／岩波新書日本の歴史〈上〉井上清著

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

■自ら情報を発信する全く新しい社会の授業

「成功する人とならない人、その違いは何でしょう」人生において成功する人は共通してあるものを持っています。それは「発信すること」です。

自分の計画、思いを上手く発信することはこれから先とても重要視されます。

そこでFCS中学社会の講座では学習したことを作文用紙にまとめる事を月に1度行います（ほぼ単元毎）。

■「答練」意識した「プロ生徒育成」

地理、歴史、公民すべてにおいて社会は普通の塾ではひたすら覚えることが多いです。

確かに覚えることは、受験において人生においても大切なことではありますが、より効率的に楽にこなすチカラも大事です。

理解をし「なるほど！」と知識の点と点を結ぶことができれば、楽にたくさん覚えることができます。

FCSでは、生徒自らが理解をし、人に社会を語るようなことのできるような授業を目指します。もちろん、暗記は欠かせないものであるため、記憶を定着させるにはインプットしたものをアウトプットすることが重要です。よって、覚えたことは問題を解くことでアウトプットしましょう。

■なぜ？に興味を持つ子、理由を追い求める子を募集

先日、中部地方の地理の授業をしました。

子ども達は山陽地方山陰地方の2区分に分けて呼ぶものの他に、四国地方を合わせて気候区分として山陰地方、瀬戸内地方、南四国地方の3区分に分けて呼称するものがごっちゃになって混乱していました。

まとめる事への経験値がある子なら、それぞれの気候区分、風向や地形を重ねて考え、そして名前の漢字を照らし合わせる事で、暗記する以前に自ずと頭に入りますが、まだ、素養が育まれていない子だと、いくら勉強しても情報をまとめる事ができません（そのまま成人し、自分の考えを文字に起こす事ができない大人になって行くのです。勿論、点数も取れません）。

地理でたとえるなら、地形発生の理由、名前の由来などに興味を持つような「地理」「歴史」「公民」で理由を追い求める子の参加を歓迎します。



福岡チャータースクール+数学教室
電子教科書創刊

高校数学講座

開催日●木・土（入門）日朝・月・火・土（演習）

会場●F C S藤崎本館・もちパレス

内容●入門講座では高校で使われている教材を使い、高校の授業の予習の説明→演習を繰り返して行きます。

数ⅠA予習コースは高校1年生・中高一貫中学3年生、数ⅡB予習コースは高校2年生・中高一貫高校1年生が対象ですが、緩やかなグルーブレッスン形態を取っているので前者が入会1年目、後者が2年目のグループで後者の理系の会員（修猷高2）は数Ⅲまで進んでいます。

3年目のグループや1、2年目のグループで演習を積み増したい会員が演習コースで数学の考究を続けています。

途中で入会する子、転塾してきた子は、体験を通して、そのいずれかのグループに入っていく事になります。

・多くの疑問「塾・予備校」では「革命」

予備校や大手学習塾は一つの授業ラインがあり、生徒がそのラインに乗る事を強要されます。

F C Sはラインは複数ありますが、先生の数、教室の数がその分必要となり、回らなくなるのでは（塾が私立中対象としたくない本当の理由）、との疑問を保護者、塾・学校関係者から尋ねられました。

キーワードは「予習」。学校の復習をメインにすればラインは複数必要です。しかし「予習」すれば収斂します。

ただ、学校で習った上で生徒に教える「塾・予備校」界ではこれは「革命」です。技量のない先生がこれを行うと生徒はたちどころに減り、どんなに看板があってもクラスは消滅します。

「復習」は？適切な予習を行えば、質問が減るので、復習の必要がなくなります。試験前は他教科に時間を充てるようになるほどです。

高校英語講座

開催日●毎週日曜日朝9:00～（だいたい90分）

会場●F C S藤崎本館

内容●この教室では、英語が苦手な生徒にはまず文法をしっかりと足固めすることから指導しています。

「文法事項の解説を行った後にそれについての問題を解いてもらう」という流れの繰り返しにより、苦手意識のある生徒にも取り組みやすい学習にしています。大教室や動画の授業と違い、相手手のかかる事をやっています。

・主宰者からメッセージ

「英語を習う」予備校なら教材があり、それを予習して、授業を受ける（動画を観る）。先生の知識量（博学）が授業価値を左右し、その話を聞きに行っていたものでした。

でも、これには落とし穴があって教材を予習してればこのサイクルは機能しない。

朝課外があり、学校の予習だけでも大変で睡眠時間がない現役高校に「更に予習して下さい」は余裕のある生徒に対しての話。多くは課題に振り回されるだけです(続かない)。また、もう一つ。その教材（英文）がいかにも素晴らしくとも、自分の英語力のちょい上でないと、意味がない（いきなり阪大レベルの英文が出て来ても太刀打ちできない）。実は、日々接している英文読解（学校の教材の予習）のクオリティーを上げる。繰り返し使われる文法を固める。ここを通らない限りその先はないのです。

教材を指定し予習を前提に進める授業形態は労力はいりません。逆に生徒に合わせると無限の能力が先生に求められます。後者ができる先生が教える英語講座がF C Sのそれです。九大以上の大学を現役で合格したい方向き。

高校化学講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）

会場●F C S藤崎本館

内容●大学入試における化学は細かい単元がたくさんありますが、大きく分けて理論・無機・有機の3つに分けられます。

この内無機・有機はどうしても覚える内容が多く、覚えれば覚えるだけ得点力に直結するような分野です。

一方理論化学は化学全般の土台となる分野で、理解がとても大切です。実際、出題の比率も高く、センター試験の半分以上は理論化学分野から出題されています。

理論化学さえしっかり押さえておけば、後は暗記量に比例して点数は伸びていくため、まずは理論化学をしっかり身につけていくことが大事です。

もちろん理論化学を特に手厚くケアしていくことを考えています。

授業は説明や整理を行った後で、問題演習を行う形式をとります。問題を解く時に理論をどのように活用するかが大切なので、ただ解くだけでなく「何を問われているのか」「どのように問題文を整理して知識と結びつけるか」などの解答の根拠などを示し、幅広い問題に対応出来る力を付けます。無機・有機については、表で整理したり、まとめて覚えると覚えやすいものなどを示した上で、とにかく反復して知識の定着を図ります。

物理と同様、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後化学が必要になるため予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は理論化学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

高校物理講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）

会場●F C S藤崎本館

内容●物理大学入試における物理の分野には力学・電磁気・波動・熱・原子があります。

中でも力学と電磁気の2分野は必ずどこの大学でも出題されており、この2分野をしっかりと身に付けることは重要です。さらに言えば、物理の初めに習う力学は、数学における式と計算のようなもので、物理全体の基礎となる部分であり、もっとも重要な分野です。

“物理が嫌い”というほとんどの人はこの力学でつまづいています。

物理の問題は当然ながら、公式や物理法則を適用しなければ解けません。しかし、公式はただ暗記しても、現象を正しく理解していなければ、それを適用することすらできません。

そこで授業は始めに説明を行い、理解をしてもらった上で、その理解を助け、覚えるべき事を「使える」形で覚えるために、最適な問題で演習を行う形式をとります。理解した現象を問題へと結びつけていく方法を示しながら、実際に行う問題演習ではそれぞれの生徒に助言を与えつつも自力で解かせる時間をとります。

また、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後物理が必要になるため為予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は力学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

医師国家試験に無事合格しました！と昨春、大濠一貫の卒業生から連絡がありました。丁度、筑紫女学園一貫の生徒が産業医科大医学科に合格したので、引き合わせようと天神 EPIDOR でランチ大会に。

大濠一貫の子は中3から入会した子と記憶していません。現役で宮崎大学医学科に進学したのですが、確か因数分解から教えた記憶があるのですが、遥かかなたの懐かしい出来事ですべてを思い出せません。

大濠一貫の子の時代はまだ You Tube に授業動画をアップロードしてなかった時代。一方、筑紫女学園一貫の子の頃には You Tube に授業動画が出揃い、フル活用。二人の学習環境もだいぶ様変わりしました。

でも、いずれの年代もF C Sでは、学校の授業の予習→学校の教材で演習→学校の授業を受ける、これを3年間繰り返し、ラスト1年間は「大学への数学」や「天空」等、著名な受験参考書を毎月1冊のペースでドリルのように解く・・・。

学校の授業の予習部分に You Tube の授業動画が加わるか否かの違いはありますが「学校の授業が2度目」「教材を解くのが2度目」にするのはその当ても今日も変わりません。

更に、本人達も自覚していましたが、二人とも「大学への数学」の学力コンテストに毎月提出する「教室内1番手」グループではありませんでした。

ゆえに、この2人の国公立大医学科合格の嬉しさは格別なものだったと思い起します。

左の成績を見て下さい。これは同模試を知る人なら実感頂けると思いますが、あり得ない点数です。

でも、細かく見る人はある事に気づかれます。修猷館高校2年生がいない！それはF C S、いや、高校で成績を取る秘密を読み解く鍵となるのです。

F C Sは毎年2月、3月に半端でない中学準備講座、高校準備講座を行っています。昨年の受講者の中には4月の時点でセンターの二次関数、三角比が解ける子も出現しました（その授業の様子は You Tube でご覧頂けます）。

センターが解ければ、高1進研模試は楽勝です。7月の同模試は筑紫丘理数科会員が満点。校内実テでは修猷館高1会員2名が満点（4月実施分）定期考査も修猷館、筑紫丘理数科、同普通科、福岡高校、西南中学、大濠中学、上智福岡中学で満点、9割超え、等々（HP参照）。当然の結果です。しかし、高校2年生は？

それは二年前の3月の時点で修猷館高1が0名だった。これではどうしようもありません。

中途入会するケースは成績になんらかの問題をかかえている事が多いものです。負債の返済から始めないといけない。すると、元々できる子でない限り、左記のような成績はなかなか望めません。国立医学部医学科・・・酷でしょう。

ならば、春から入会すれば皆安泰なのでしょうか？

今年、修猷館高校1年生の入会者の中で途中で辞めてしまった子が出てしまいました。教室では同じ事を教えている。しかし、結果が出ない。

「相性が悪い」で納得してしまうのは簡単です。けど修猷館高校に合格した子だから、出来ない子ではありません。優秀です。しかし、その優秀な子達が入学して即日あった実力テストで一桁から満点まで分散してしまう。たった数日で！大きな格差が点数化される。

格差を注意深く観察する。するとある共通項が浮かび上がります。一つは中学時代、平易な入試問題（公立入試、福岡都市圏の私立入試は正答率が8割超える）の反復を通して学力を積み上げる「しくみ」で合格点に達したケース。

あと一つは家で勉強する事なく合格できたケース。

前者は成績を維持するために相当な類題や確認テスト、分かりやすい説明（塾）が必要な体質になってしまっているため、高校内容だと一日が24時間では足りず、私生活から崩壊。

後者は（小）中学校内容までは授業の場で覚え、成績を維持できた。しかし、その場で理解する事が困難な問題に直面すると家で勉強する習慣を持たないので放置→授業がついていけなくなり、成績が急降下。

家で勉強せず合格？俄に信じ難い話ですが、実は身近な問題のようです。

先日「成績をなんとかして欲しい」と高校1年生が来塾されました。問診すると第一志望に落ちたものの、市内の有名私立中学に進学。小学校時代は有名学習塾の最高峰クラスコースに選ばれていて、決して出来ない子ではない。いやできる子だった。

しかし何故、成績がこんなにまで下がったのか聞き取りを続ける。すると「家で勉強できない」と答える。

「入学して2回は順位は出なかったが、3回目定期あたりから順位が出て、学年で真ん中だったので親が激怒。それからもう勉強をする気がなくなった」。

このように、かなり成績が良かった子ですら、自分で勉強する習慣を持たない子がいるのです。

中学（小学校）時代の勉強の質が悪いと課題を与えてもやれないので定着しない。時間がかかるので間に合わない。合格してもたちまち成績が崩壊する。

でも、中学（小学校）時代に正しい勉強を身につけてさえいればあとはタイミングの問題。

昨年の高校数学予習講座には西南中2年生がラサール高校新1年生とともに三角比を学びました。中途入会でしたが大濠中2年生が数1 A予習コースに修猷館高校1年生に交じり参加。彼らは課題を与えれば、家で身につけ、教室に来ると「次は」と先へ先へと進む。動画も「何を見てこればいいのですか」と尋ね事前に学ぶ子になっていく（左記の試験は受けてないのですが、近い将来そら恐ろしい成績が数値化されると楽しみにしてます）。

医師になる2人は「天才」ではありませんでしたが、中学時代にはそれを身につけてました。あとここで学校の先取りをただけなのです。

